



労働政策研究報告書 No. 199

2017

JILPT : The Japan Institute for Labour Policy and Training

---

---

---

---

# 大都市の若者の就業行動と意識の分化 －「第4回 若者のワークスタイル調査」から－

労働政策研究・研修機構

# 大都市の若者の就業行動と意識の分化

－ 「第4回 若者のワークスタイル調査」 から －

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

## ま え が き

労働政策研究・研修機構では、前身である日本労働研究機構時代から若者の働き方や意識をテーマとした「若者のワークスタイル調査」を行ってきた。2001年に実施した第1回調査においては、いち早く当時の「フリーター」問題に取り組み、その後も継続してその時々の若者の働き方を捉えるため行ってきたものである。本報告書は、「第4回 若者のワークスタイル調査」の調査結果を取りまとめたものである。

この15年間、若者を取り巻く状況はときどきの経済状況によって大きく変動してきた。ややもすると現在直面している状況が今後も継続するのではないかと考えがちだが、これまでの4回の調査はより長期的な枠組みで現象を捉えることの重要性を示唆している。

本報告書が、この問題に関心を持つ方々のお役に立てば幸いである。

2017年10月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
理事長 菅野和夫

## 執筆担当者（執筆順）

氏名	所属	執筆章
堀 有喜衣	労働政策研究・研修機構 主任研究員	序章 第4章 第5章 終章
谷 謙二	埼玉大学教育学部 准教授	第1章 第8章
小杉 礼子	労働政策研究・研修機構 特任フェロー	第2章 第3章
小黒 恵	労働政策研究・研修機構 研究助手	第6章 第7章 基礎集計表

# 目 次

序章 問題意識と調査の概要	
第1節 問題意識	1
第2節 調査の概要	1
第3節 2001年からの15年の変化	4
第1章 東京の居住・就業の地域構造	
第1節 はじめに	8
第2節 人口と居住者特性	9
第3節 居住者の学歴と就業	14
第4節 雇用と産業	17
第5節 通勤パターン	21
第6節 まとめ	23
第2章 職業キャリアの現状と近年の変化	
第1節 はじめに	25
第2節 離学直後の状況とその変化	28
第3節 職業キャリアの類型化とその分布の変化	31
第4節 離学時の無業・非正規雇用からのキャリアの現状と変化	38
第5節 現職正社員のこれまでのキャリアによる就業状況・意識の違い	42
第6節 まとめ	51
第3章 新規学卒就職者の早期離職と離職後のキャリア－15年前との異動の検討	
第1節 はじめに	55
第2節 正社員就職者の離職状況の変化	57
第3節 離職した初職の特徴の変化	59
第4節 離職までの経緯の変化	64
第5節 離職後のキャリアの変化	68
第6節 まとめ	73
第4章 仕事上の「強み」の認識と獲得経路	
第1節 問題意識と分析方法	76
第2節 「強み」の種類	76
第3節 「強み」の獲得経路	82

第4節	おわりに	87
第5章 20代後半層の職業意識の推移と変化		
第1節	はじめに	89
第2節	職業意識における15年の変化	90
第3節	学歴別の傾向	92
第4節	現職の就業形態による傾向	93
第5節	フリーター経験の有無	95
第6節	4つのタイプの集約	98
第7節	若者の職業意識の趨勢	100
第6章 フリーター経験と正社員への離脱		
第1節	はじめに	102
第2節	フリーター経験の有無の規定要因	103
第3節	フリーター選択理由とその規定要因	112
第4節	フリーターから正社員への離脱	122
第5節	まとめ	130
第7章 社会的背景と公的支援の状況		
第1節	はじめに	134
第2節	社会階層が就業形態に及ぼす影響	135
第3節	行政サービス・公的支援の利用状況とその規定要因	146
第4節	まとめ	152
第8章 東京都居住者の居住経歴と職住の空間関係		
第1節	はじめに	154
第2節	居住経歴	155
第3節	出身地ごとの特徴	157
第4節	居住地と意識	159
第5節	初職時の移動と離職・転職状況	161
第6節	現在の就業地ベースの特徴	163
第7節	通勤行動	166
第8節	まとめ	170

終章 知見の概要と政策提案	
第1節 知見の要約	172
第2節 政策提案と今後の課題	174
資料編	
第2章 付表	179
基礎集計表	199